

# 新しい暮らしの中に楽しみを見つけて

令和2年4月からご入居された

## 古澤 尚子様

ご主人の友人がグランガーデンに入居されていたそうで、前からグランガーデンのことはご存じだったという古澤様。

ご主人を亡くされ、最初はそのまま一軒家のご自宅で過ごすつもりだったそうですが、ご主人が生前「自分が亡くなった後一軒家に一人で暮らすのは危ないのでグランガーデンに妻を入居させるように」と娘様に遺言を残されていたそうです。娘様も熱心に入居のサポートをされ、亡きご主人と娘様の思いを知り、入居を決心されました。

一軒家のご自宅では、隣家に空き巣が入ったり、自宅前を不審な車が行き来するなど、実際に怖い思いをしたこともあったそうです。「グランガーデンに来てからは、はじめて玄関の鍵一つで戸締りが終わる生活に安心して過ごせています。入居後に自宅の整理や売却など、忙しくした時期もありましたが、それも最近ようやく片付いてホッとしています」と話されます。

現役時代は、看護師として医師であるご

主人を長年サポートされ、仕事にも子育てにも邁進されてきた古澤様。ご主人がお仕事を引退されてからは、それまで働き詰めでどこにも行けなかった分、ご夫婦で世界各国に旅行に行かれたそうです。「いい思い出ですね。叶いませんでしたが、本当は主人も一緒にグランガーデンに入居したかったと思いますよ」と話されます。

入居されてからしばらくは、新しい環境に慣れない時期もあったそうですが、今ではクロスワードサークルに参加されるなど、グランガーデンでの生活を楽しくおられます。「週に1回集まって、クロスワードで頭を使っています。サークルのメンバーは60代から80代まで年齢も様々なので、いろんな考え方や話を聞けますよ。それぞれの得意分野があって、みんなで協力してパズルを解いていけるのが楽しいですね」と話してくださいました。

元々アクティブでどこにでも歩いて行っていたと話される古澤様ですが、最近

足の調子が悪く、以前のように外出ができなくなってきたそうです。「外出をする機会は減りましたが、グランガーデンは熊本城も見えて景色がいいので、外を眺めながら館内を散歩するだけで、いい気分転換になります。全く歩かないのもいけないので、先生に相談しながら適度に運動しています」とのことです。

イベントにも積極的に参加され「お楽しみ交流会も楽しかったですし、先日はスマホ相談会に参加しました。音楽も好きなのでロビーコンサートがあるのも嬉しいですね」と笑顔で話してくださいました。

面倒見がよく、スタッフにもいつもねぎらいの言葉をかけてくださる古澤様。これからもグランガーデンでの生活を楽しくいただきたいと思います。

